

# 連 続 講 座 2024

## 講義概要\*

\*予定です

### 第 15 回：2025.1.30 OSS の利用と法的リスク

現在、OSS は、多様な事業分野で活用され、AI や IoT 等の先端の技術分野でも、極めて重要な役割を果たしています。

OSS を開発し、提供し及び利用する際には、脆弱性等に伴う責任、特許侵害リスク、伝播性（ソースコードの開示義務）、OSS の両立性等、様々な留意点があり、紛争事例も少なくありません。

本講義では、SOFTIC の「IoT 時代における OSS の利用と法的リスク検討会」の数年間に渡る検討結果を取りまとめた Q&A 集と同検討会が現在取り組んでいる Q&A 集の改訂作業における議論等を題材として、以下の点について、解説したいと考えております。

1. OSS の類型と特徴
2. 主要な OSS ライセンスの留意点（MIT、BSD、Apache、GPL 等）
3. GPL と伝播性
4. OSS ライセンスの法的性格（単独行為か契約か）
5. 定型約款・消費者保護法との関係
6. OSS を開発し、提供し及び利用する際の留意点（GitHub Copilot の利用に伴う法的リスク）
7. OSS の両立性と混入
8. 脆弱性等に伴う責任問題
9. 特許その他の知財問題
10. OSS と越境問題
11. OSS の利用ポリシーと社内教育、サポート・管理体制、SBOM（Software Bill of Materials）を用いた管理の在り方
12. 紛争・トラブル事例（GitHub Copilot クラス・アクションの現状等）
13. 今後の展望